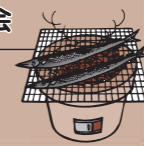


学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

合川中生徒が国立市で「まと火」を実演 ～合川まと火子ども交流プロジェクト2015～

旧合川町と30年間にわたり交流のあった東京都国立市との「合川まと火子ども交流」が、7月18日から20日までの日程で開催されました。

昨年に続き、合川中学校の生徒16人と合川まと火保存会、合川婦人会など29人の関係者が、国立市の多摩川河川敷公園会場でまと火の準備やイベント広場でのボランティア活動を行いました。

J Aあきた北央の協賛による「比内地鶏のじゅんさいスープ」や冷やしトマト、また、パパヘライスなどを市民に提供したほか、国立市の中学校と共に

同で岩手県山田町への復興支援募金活動を行うなど、伝統行事の「まと火」を通して絆を深めました。



▲国立市民と伝統行事の「まと火」を披露

もし、学校が避難所になったら！？ ～米内沢小学校『防災キャンプ』～

地震などの災害を想定した防災キャンプが、8月1日、2日の両日、米内沢小学校で行われ、5・6年生55人と保護者、日赤奉仕団、自治会や地域住民合わせて150人のほか、森吉中学校から3人の生徒が参加し、2日間、行動を共にしました。

この事業は、学校支援地域本部事業と連携のもと、児童と住民と一緒に「避難所」を開設することで、お互いに助け合うことや必要な防災知識を学びながらコミュニケーションを図ることを目的としています。キャンプ中は、消防署員やOBの方からの心肺蘇

生法・AEDの使い方学習、日赤奉仕団との炊き出し訓練など、有意義な防災学習が行われました。



▲テント設営を手伝う森吉中学校の生徒たち

川遊びやイワナのつかみ取りに挑戦！ ～阿仁公民館主催「夏休みわんぱくクラブ」～

阿仁公民館主催の「夏休みわんぱくクラブ」が、8月6日に阿仁川の専念寺川原で開かれました。

阿仁合小学校・大阿仁小学校の児童20人は、川遊びや魚のつかみ取り、スイカ割りなどを楽しみ、ふだん体験できない自然とのふれあいで、友達と交流を深めました。

この日は、公民館支援ボランティア阿求道会、阿仁民生児童委員協議会、高校生ボランティアが見守る中、児童たちは、川に入って高校生と水遊びをしたほか、阿求道会の会員が造った人工の生けすに放

流されたイワナを夢中になってつかみ取りし、川原には子どもたちの歓声が響き渡りました。



▲高校生ボランティアもお手伝いしています

第15回北秋田市縄文まつり

【開催日】 9月12日(土)

伊勢堂岱遺跡PRのため、縄文まつりを開催します。縄文人の知恵を学び、遺跡の世界遺産登録を実現しましょう。

【会場】 北秋田市文化会館

【時間】 9時30分～13時

【会場】 北秋田市文化会館駐車場
【内容】 土器土偶づくり、縄文料理、勾玉づくり、火おこし、的当てなど

■音楽祭

【時間】 13時～15時

【会場】 北秋田市文化会館大ホール
【出演】 あるまんど山平&ベルビエン
トス、本城奈々、佐伯モリヤスほか

古民家で生ジャズライブ

【開催】 事務局 長岐賢一
090-6101-8906

【開催】 9月22日(火・祝)
【開演】 15時(雨天決行) 入場無料
【会場】 七日市長岐邸(おやかたの家)
【出演】 秋田大学ジャズ研究会
【主催】 おさるべ元氣くらぶ

合川公民館公開講座

【開催】 合川公民館 78・2114

■中級パソコン教室

少しパソコンの扱いに慣れた人の

ためのパソコン講座を開催します。

【開催】 9月15日(火)、17日(木)
24日(木)、29日(火)

【時間】 18時～20時
【場所】 上杉あいターミナル
【締切】 9月9日(水)

はまべのうたキッズの募集

【開催】 文化係 62・6618

11月3日「第10回浜辺の歌音楽祭」で一緒に歌うキッズを募集します。
【練習日時】 10月の毎週木曜19時～20時
【場所】 森吉コミュニティセンター
【募集対象】 小学校に入学前の子ども
【募集期間】 10月1日(木)まで

『木精くえこく』

【開催】 森吉公民館 72・3259

書く生涯学習誌『木精』の作品を募集しています。

体験談、エッセイ、伝聞、詩、小説、短歌、川柳などテーマは問いません。

【対象】 北秋田市在住又は出身の方
【原稿】 手書きの場合は原稿用紙/パソコンの場合は「Word」A4/

長編の場合は4000字詰原稿用紙換算で30～40枚程度/作品にはタイトル、著者名(本名でなくても可)を付記してください。

【締切】 11月27日(金)

※「住所」「氏名」「連絡先電話番号」を添えてお申込みください

ふるさとの文化財

北秋田市無形民俗文化財

○「葛黒火まつりかまくら」

◇所在地 北秋田市葛黒(七日市)
◇管理者 北秋田市葛黒自治会

藩政期から250年続き、一時途絶えていた葛黒集落の小正月伝統行事「火まつりかまくら」が、平成26年2月「おさるべ元氣くらぶ」を中心とする地域住民の支援により、15年ぶりに復活しました。

◇まつりの由来(始まり)

ならず者の「権五郎」を懲らしめようと、大木を大男に見立てて燃やしたのが始まりとされていますが、これには平安時代、後三年の役で武功を立てた「鎌倉権五郎景政(正)」説のほか、諸説があるといわれます。江戸時代中期の宝暦年間(1751)に始まったとされ、無病息災、五穀豊稔などを祈願しました。

◇火まつりの順序

一、ご神木(若木) 選び(当日の朝切り出し)
二、枝を残した大木にワラ、竹、豆ガラ、ウツギを着せる。(ワラは稲の魂が宿る神聖なもの、竹などの燃えるパチパチとはじける音は邪気を払うとされています。)

90

三、ご神木の起ち上げ作業(人力)
四、ご神木を燃やす。(神様が降りてくる目印となるように明るくします。神様が降りて来るところは「神の座」、「座」は「くら」とも読み、「かみくら」が移り変わり「かまくら」となったと考えられています。)

五、燃えるご神木に向い「おーい、かまくらのごんごろう」と叫ぶ。
六、燃え残ったご神木で餅をあぶって食べると風邪を引かない、火事に遭わないと伝えられています。15年ぶりの復活では、大木の周りに多くのミニかまくらが作られ、お供えが添えられました。



▲葛黒火まつりかまくら

▽資料/『おさるべかだるべ』(おさるべ元氣くらぶ2号)、「あきた風土民俗考」No.46齊藤壽胤氏(民俗研究者)、新聞記事、文化財保護・遺産保存関係者の歴史資料
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二